

令和6年6月定例会 提出議案

・令和6年6月25日提出

議案番号	件名	区分	結果	備考
議員提出 議案第2号	海上自衛隊が保有する掃海艇等の 小型艦艇の寄港地としての活用が できるように岩手県と釜石市が歩 調を合わせ、実現に向けた取組みを 促す決議について	決議	可決	6/25議決

議案第 2 号

海上自衛隊が保有する掃海艇等の小型艦艇の寄港地としての活用ができるように岩手県と釜石市が歩調を合わせ、実現に向けた取組みを促す決議について

上記の議案を、別紙のとおり釜石市議会会議規則第 14 条第 1 項の規定により提出します。

令和 6 年 6 月 19 日 提出

提出者	釜石市議会議員	磯 崎 翔 太
賛成者	同	井 筒 健太郎
	同	佐々木 義 昭
	同	野 田 忠 幸
	同	三 浦 一 泰
	同	遠 藤 幸 徳
	同	佐 藤 憲 弘
	同	古 川 愛 明
	同	細 田 孝 子
	同	山 崎 長 栄
	同	佐々木 聡
	同	菊 池 秀 明
	同	高 橋 松 一
	同	工 藤 聡一郎
	同	村 田 信 之
	同	菊 地 広 隆

海上自衛隊が保有する掃海艇等の小型艦艇の寄港地としての活用ができるように岩手県と釜石市が歩調を合わせ、実現に向けた取組みを促す決議

釜石港は湾口防波堤が完成したことにより、湾内の静穏度が著しく向上しており、市内外から高い評価を受けているほか、津波被害を軽減させるための役割は、東日本大震災において効果が実証されている。また、台風等の荒天時には多くの船舶が緊急避難港として入港するなど、国際港としての位置付けと併せて、船舶の安全面で多大な貢献を果たしており、利用価値の高い港湾として評価されている。

一方で、海上自衛隊が保有する掃海艇等の小型艦艇は、悪天候時に緊急避難を余儀なくされるが、自衛艦であるという性質上、寄港地として指定されている港への入港が望ましいとされている。特に、太平洋沿岸地域においては、青森県大湊港から神奈川県横須賀港までに指定されている港がなく、その必要性が強調されている。釜石市が寄港地として指定されれば、積載する物資の補給や、隊員の保養を目的とする体育施設の活用や宿泊需要が見込まれるほか、市内飲食店等での消費行動にも繋がる可能性がある。また、岩手県広域防災拠点における後方支援拠点としての指定と併せて、海上自衛隊の輸送艦を中心とした艦艇の入港が見込まれ、災害対応にも活用できる。

社会資本の有効利用及び地域の活性化のためにも、釜石市は海上自衛隊が保有する掃海艇等の小型艦艇の寄港地としての活用ができるように岩手県と歩調を合わせ、実現に向けた取組みを行うことを望む旨を決議する。

令和6年6月 日

岩手県釜石市議会